

市之川公民館だより 令和8年1月号 (No.625号)

〒793-0037 西条市市之川6678-1 市之川地区人口「11月末現在」

Tel・Fax (0897) 56-3300 人口 7人(男3人・女4人)

eメール ichinokawa-k@saijo-city.jp 世帯数 5世帯

※ 西条市市之川公民館だよりで検索するとカラー版がご覧になれます。

1月 睦月（むつき）



新年あけましておめでとうございます。

皆様方のご健康とご活躍を願い、本年がより素敵な一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

《1月の行事予定》

日	曜	行事・時刻・場所
1	木	祝 元日
12	月	祝 成人の日
18	日	臨時休館



年末に市之川地区の神社にお参りに行きました。今年一年、無事に過ごせたことに感謝いたしました。



市之川 三太神社



丸野 天来風伯神社



保野 保野神社



東丸野 三社様



※ 飯岡総合文化祭に参加【11月16日（日）】

飯岡総合文化祭に参加しました。文化祭では鉱物に興味を持ってもらうことを目的に、高温水晶探しを行いました。また、社会福祉協議会市之川支部では西条高校商業科【輝安KOU房】から新商品を預かり、委託販売を行いました。学校行事等で高校生の参加は叶いませんでしたが、皆さまの温かいご支援を頂き、大盛況となりました。



開会式

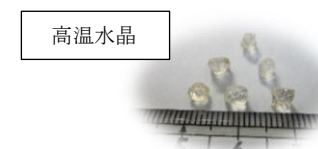


設営完了



宝石ガチャ

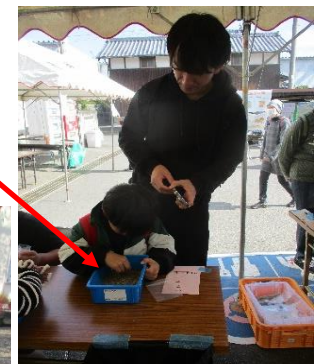
この宝石ガチャは、大盛況です。西条高校輝安KOU房では、民藝散歩、西条高校文化祭、飯岡総合文化祭用に100個以上用意しておりましたが完売したと聞いております。



高温水晶



高温水晶探し



用意した高温水晶3mm程度の水晶です。参加者の方々は、ピンセットを使い上手に拾っていました。

※ 愛媛大学から来館

愛媛大学 講師
白勢 洋平氏



愛媛大学 講師
延寿 里美氏

11月30日（日）愛媛大学の白勢先生・延寿先生・大学院生の3名がリストベナイト（通称：加茂川ひすい）の調査に来られました。また、香川県の方2名もお越しになり、合同で調査を行いました。

※ 富山県恐竜博物館・石川県尾小屋鉱山資料館・遊泉寺銅山

2025 年 12 月 10 日

11月21日（金）～24日（月）にかけ富山県・石川県等に行ってきました。きっかけとなったのが石川県の尾小屋鉱山資料館。この館から、4月・9月と企画展の案内がありました。折角の機会です。思い切って北陸方面訪れることにしました。



福井県立恐竜博物館 21日（金）訪問
午前9時過ぎに到着。開館とほぼ同時刻に到着しましたが、駐車場は6割ほど埋まっています。人の多さに驚きます。
館内には恐竜の化石のほか、岩石や鉱物が展示されています。ここにも市之川産の輝安鉱が展示されていました。この輝安鉱の写真は市之川公民館でも見ることができます。

石川県小松市 尾小屋鉱山資料館 21日（金）訪問

尾小屋鉱山は明治12年に採掘が始まり、昭和37年に閉山。以後、北陸鉱山が経営していましたが、昭和46年に閉山となった鉱山です。資料館は帰り際に撮影しました。16時30分を過ぎると真っ暗です。（口頭ではありますが、公民館だよりへの掲載許可を頂いております）



尾小屋鉱山資料館



ポッポ汽車展示館

クマ注意の看板



カラミの遺構。カラミの形は六角形です。暗闇の中で撮影。



とてもきれいな紫水晶が展示されています。

学芸員の廣田さんに施設の説明をして頂きました。

坑口前での集合写真



館内の様子

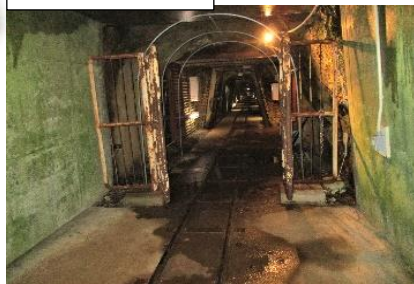


坑道見学

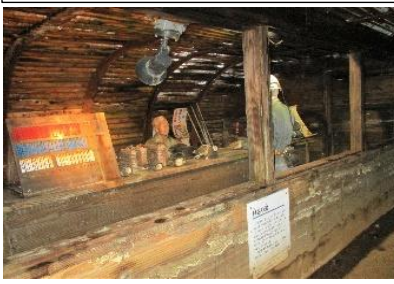
薄暗くなった道をクマに遭遇しないかとビクビクしながら歩き坑口へ。



坑内の様子



坑内に入っすぐ「見張り場」精巧なマネキンにドキッ。この坑道は、安全のため補強されていますが、当時の様子がとてもよくわかります。



石川県小松市遊泉寺銅山
22日（土）訪問。突然の訪問にも関わらず、長時間にわたり説明をして頂いた職員の方に感謝です。

～毎月10日は人権を考える日～

自分事と差別意識（「人権問題に関する市民意識調査」より）

（問25）家を購入したり、マンションを借りたりするなど、住宅を選ぶとき、価格や立地条件などが希望通りであっても、被差別部落の地域内の条件の場合、避けることがあると思いますか。
（「令和6年度人権問題に関する意識調査」から）

右記の結果は、「土地差別」についてのものです。44%の方が「まったく気にしない」または「どちらかといえば避けない」と回答しています。また、22%の方が「どちらかといえば避ける」と回答しています。
差別は「する側」の問題であり、差別をする人がいなければ、差別は起きないのです。しかし、差別することに対していろいろ理由をつけて、「差別することはいけなけれど仕方がない」とか「〇〇なので、差別する」といったことが言われることがあります。これを、「差別を正当化する」と言います。

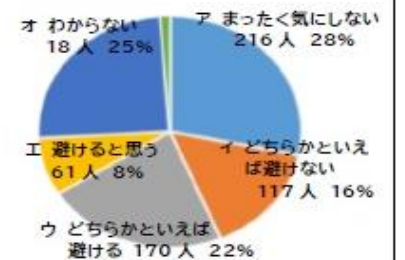
本来「差別をする理由」など全くないのです。それでも、「〇〇は、昔から〇〇と言われているから」と理由をつけるのです。「それ、本当ですか？」と尋ねると、正しく答えられないのです。なぜなら、すべて「根拠がないこと」、すべて「偏見」であること、すべて「事実でないこと」で、伝えられてきたこと」などを、正しいと考えている場合がほとんどだと思われま

す。
偏見：あるものに対する偏ったものの見方や考え方。この見方や考え方に「嫌い」「不安」「敵意」「軽蔑」といった感情が加わる。

偏見をなくすためにはどうすればいいのでしょうか。

まず、自分を冷静にしかも客観的に振り返り、他人事ではなく自分事として受け止める（または、「相手と自分をおき換え頭の中で想像してみる」）ことが大切です。そして、自分の中に差別する意識（心）があることを認めることにより、すべて「偏見」「根拠のないこと」「事実でないこと」であることが分かってくると思います。

そんなことで、人を差別したり、人の心を傷つけたりしているとわかってく



講演会では、講師の先生が、自分が被差別部落出身者であることを告げたうえで、自らが受けた差別についてしっかりと口頭で語っていました。それはわたしの予想していた内容とは全く違うものでした。

（中略）

講師の先生の話にすっかり引き込まれたわたしは「すごいなあ」と憧れのような感情を抱いていました。すると講師の先生が「ぼくのふるさとをすてきだなあって思ってくれた人？」と言うのでわたしは迷わず手を挙げ周りを見ると、多くの人が同じように感じていたのです。すると講師の先生が言うのです。「じゃあ、ぼくのふるさとに住んでみる？」。わたしは頭の中が真っ白になり、何も考えられずにいると、講師の先生は優しくゆっくりと語り始めました。「みんなが、結婚差別に怒りを覚えたり、ぼくのふるさとをすてきだと感じてくれたことは本当にうれしい。でも、自分が住むってなった瞬間、自分事として考えたんだよね。大事なものは、ここだよ」と、胸に手を当てるのでした。

引用元：（シリーズじんけん No. 531「自分の中にある差別心」大分市人権教育推進課 より抜粋）

西条市人権教育協議会 西条市人権擁護課

遊泉寺銅山ものがたりパーク 全体図
全長3,360mの遊歩道。巨大煙突や堅坑跡が見られます。



里山みらい館

